

沿革の概要

明治 6 年	7 月	3 日	志保津小学校として創立する。
明治 2 1 年	1 月		志保津を塩津と改称する。
明治 3 5 年	7 月		小学校に高等科を設置し、増築する。
昭和 1 6 年	4 月	1 日	塩津国民学校と改称する。
昭和 2 2 年	4 月	1 日	塩津小学校と改称する。
昭和 2 8 年	7 月	3 日	開校 8 0 周年記念式典を挙げる。
昭和 3 0 年	2 月	1 日	町村合併により、下津町となる。
昭和 3 1 年	1 0 月	1 5 日	幼稚園を併設する。
昭和 3 4 年	3 月	2 3 日	校歌を制定する。 作詩 井野川 潔 氏 (浦和市) 作曲 清瀬 保二 氏 (東京都)
昭和 3 4 年	3 月	2 3 日	校章を制定する。 考案 秋月 正兵 氏 (和歌山市)
昭和 3 4 年	4 月	7 日	校舎を改築する。
昭和 3 8 年	7 月	3 日	開校 9 0 周年記念式典を挙げる。
昭和 4 8 年	7 月	3 日	開校 1 0 0 周年記念式典を挙げる。
昭和 5 5 年	1 1 月	1 日	学校関連道路 (大塚農道幹線 2 号) の起工式を行う。
昭和 5 5 年	1 1 月	1 日	学校関連道路 (大塚農道幹線 2 号) 貫通する。
昭和 5 8 年	3 月		学校関連道路の舗装が完成する。
昭和 5 8 年	7 月	3 日	開校 1 1 0 周年記念式典を挙げる。
昭和 5 9 年	7 月	1 6 日	学校用地 6 5 5 8 m ² を買収する。
昭和 6 2 年	7 月		新校舎建築用地の造成始まる。
平成 元年	7 月	4 日	新校舎の起工式を行う。
平成 2 年	3 月	2 5 日	現校舎に移転する。
平成 3 年	4 月	2 5 日	新校舎・屋内運動場の竣工式を行う。
平成 3 年	1 1 月	1 5 日	国語科教育研究発表会を行う。(和歌山県教育委員会指定)
平成 5 年	7 月	3 日	開校 1 2 0 周年記念式典を挙げる。
平成 6 年	2 月	1 0 日	自主研究発表会『学ぶ力を育む-国語科学習を中心にして-』を行う。
平成 6 年	4 月	1 3 日	屋外学習環境施設完成する。
平成 6 年	1 0 月	1 4 日	給食研究発表会『一楽しくふれ合いのある学校給食-』を行う。(海草郡指定)
平成 9 年	1 1 月	1 9 日	下津町合同現教『たくましく生きる生活の創造～少人数の特性を生かし、自ら学ぶ力を育てる～』を行う。
平成 1 5 年	1 1 月	1 5 日	開校 1 3 0 周年記念式典を挙げる。
平成 1 6 年	4 月	1 日	幼稚園休園となる。
平成 1 6 年	1 2 月	1 日	下津町合同現教『自ら課題を持ち、豊かに学ぶ子どもの育成～自分や周りに気づき、高め合う学習を通して～』を行う。
平成 1 7 年	4 月	1 日	市町村合併により海南市立塩津小学校となる。
			2 年計画の道徳教育の研究を開始 (海草地方指定)
		1 1 月 3 1 日	社団法人・食品容器環境美化協会より第 6 回環境美化教育優良校等表彰を受ける。
平成 1 8 年	8 月	8 日	紀美野町立志賀野小学校の全校児童 2 4 名を迎え、全校及び学年別に交流し、その後露の浜にて一緒に水泳を楽しむ。(山海交流)
平成 1 8 年	1 1 月	3 0 日	海草地方道徳教育研究発表会を開催し、海草地方を中心に他地方からも多くの参加者を迎える。 記念講演は、京都教育大学名誉教授の小寺正一先生に

	「学校教育の基盤としての道徳教育」という演題でご講演をいただく。
平成19・20年度	文部科学省より、下津地区の4小学校合同で「豊かな体験活動推進事業」の指定を受け、3泊4日の宿泊体験を中心とし、自校の独自活動も取り入れながら様々な活動体験に取り組む。
平成19年7月13日	紀美野町立志賀野小学校の全校児童11名を迎え、山海交流会を行う。
平成19年8月22日～ 8月25日	5・6年生6名が4校合同宿泊体験学習に参加する。 (堺市日高少年自然の家・セミナーハウス未来塾)
平成19年10月12日	全校児童で紀美野町立志賀野小学校を訪問し、山海交流会を行う。
平成19年10月30日	県音楽教育研究発表会で塩津いな踊り音頭を発表する。
平成20年7月22日～ 7月25日	5・6年生9名が4校合同宿泊体験に参加する。 (紀北青少年の家、高野山)
平成20年7月～8月	夏休み中、「すくすく水泳」を実施。 夏休み中、「サマースクール」を実施。
平成21年	新教育課程に向けて、移行処置を実施。
平成21年12月	算数・理科の授業数増と外国語活動の研究に力を入れる。 大崎小、加茂第二小を招き、3校で「狂言体験」を実施。